

# 市民本位の市政めざしてアンケート調査実施へ

## 日本共産党上越地区委員会

日本共産党上越地区委員会（阿部正義委員長）はこのほど、上越市民を対象にした市民アンケートに取り組むこととし、配布活動をスタートさせました。

このアンケートは当面する政治戦の前に市民のみなさんの願いをしっかりと把握し、政策などに反映させるために行うものです。

アンケートの作成にあたっては、日本共産党市議団が全面的に協力しました。このアンケートについて橋爪市議団長は、「上越市は昨年4月に自治基本条例を施行したが、政策の作成などについてもこの条例の精

神をふまえ、市民のみなさんの声を反映させていくことが重要だ。昨年、党市議団が取り組んだ『杜氏の郷』アンケートは吉川区に限定した地域アンケートだった。今回のものは、全市域を対象とした初の試み。ぜひご協力を」とのべています。

アンケートの設問は「上越市を暮らしやすいまちにするために改善・充実してほしいことは」「市の財政再建と市民サービスについてどう考えますか」「新しい市政の最高責任者に何を望みますか」「市政と国政の関係について、どうお考えですか」など9項目。市内の約3万世帯

を対象に配布し、8月末までの回収をめざしてまいります。

※アンケート用紙をいっしょに折り込みました。同時に折り込みました返信用封筒に入れ、切手を貼らずに投函してください。多くの方のご協力をお願いいたします。8月末までのご回答をお待ちしています。



ソバナ

学路のうち2.2キロが整備済み。青野交差点付近については平成23年頃をめどに整備を進めたい」「防雪柵だが、現在、県内には雪崩危険箇所がまだ残っており、そこを優先させ重点的にやっている」「橋梁については3つほど補修を考えている」などと対応を説明しました。

県土木部の説明を聞いて思ったことは、命にかかわる予算付けはまだ不十分だということです。大型道路などの新設よりも地域に密着した道路の整備を急いでほしいものです。

今回の要請行動には上越市選出の県議会議員全員も参加しました。党市議団からは議員連盟のメンバーである上野、橋爪両議員が参加しています。

## 歩道や防雪柵等の整備促進を 新井柿崎線議員連盟が県土木部長に要請

主要地方道新井柿崎線整備議員連盟のメンバー11人が7月27日県庁を訪れ、野澤英之助土木部長に歩道整備等の促進を求めました。県土木部長への要請行動は今回で4度目となります。

今回、要望書にまとめた項目は歩道整備、交差点改良など22項目にのぼります。連盟を代表して宮崎会長が説明、その後、野澤英之助土木部長や高木努道路管理課長が回答しました。

このなかで野澤部長は、「道路予算が少なくなっている中で、命にかかわる急ぐべきものは急いでいるので理解願いたい」とのべま



写真は要望書を手渡す宮崎会長

した。写真は要望書を手渡す宮崎会長。県側は、「三和区で平成19年に事故が発生した箇所については単単公共補正で今年度手をつけたい」「県道の歩道整備率は34%だが、新井柿崎線は36.5%となっている。歩道整備は通学路を最優先している。この線では2.5キロの通

## 北越急行本社を視察

市議会新幹線交通対策特別委員会は先月28日、北越急行本社を訪ねました。日本共産党議員団からは平良木議員が参加しました。

ほくほく線は他の三セク鉄道とはいくつかの違いがあります。最大のもの黒字経営を続けていること。これは「はくたか」の運行を確保していることが大きいのですが、JRとの直通運転ができること、そして新幹線との接続が保証されていること、切符をJRでも買えること、新幹線内

で「ほくほく線」の案内がされることなど、他の三セク鉄道にはない多くの特徴があつてこそです。

北越急行がJRとの間で交渉を重ね、合意を作り上げてきたという話は新鮮でした。



六日町駅にて



「就学前の子どもと75歳以上の高齢者の医療費を無料化します」と訴える橋本正幸党地区農民部長と樋口市議。3日、直江津で。

## 日本共産党上越市議員団ニュース

No.194 2009年8月9日

連絡先	橋爪 法一	548-3628	(吉川区代石)
	樋口 良子	544-6802	(中門前3)
	上野 公悦	530-2203	(頸城区中柳町)
	平良木哲也	525-9096	(上中田)